

わかちあい



市議会だより



12月定例会(11.28~12.19)を開催

ページ

- ② 10月臨時会、12月定例会提出議案
- ③ 委員会審議
- ⑤ 請 願
- ⑥ 討 論
- ⑦ 議決結果
- ⑧ 議会基本条例の改正
- ⑨ 質疑・一般質問
- ⑬ 市議会トピックス、3月定例会の日程

No.142

2015.2

兵庫県加西市議会

題字 三宅羅山 書

10月臨時会（10月31日）

○議案第74号 平成26年度加西市一般会計補正予算(第3号)について

学校法人キリスト教飯盛野学園愛の光幼稚園が、幼保連携型認定こども園として1～5歳児を受け入れ、自園調理ができるように施設を改修するなど、県補助金を活用して事業の一部を補助(1,462万5,000円)するもの。

(議決結果) 全会一致で可決

12月定例会（11月28日～12月19日）

提出された主な議案

○議案第76号 特別職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の制定について

児童手当の振込遅延により多大なご迷惑をおかけしたことをはじめ、職員の事務処理ミスが続いている状況に対する信用失墜の責任として、平成27年1月分の市長及び副市長の本則給料月額を10分の1減額するもの。

○議案第77号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成26年度人事院並びに兵庫県人事委員会勧告に準じ、次のとおり改正するもの。

特 別 職	平成26年12月期末手当の0.15月分引き上げ。
一 般 職 員	①若年層を中心とした平均0.3%の給料表水準、自動車通勤手当、平成26年12月勤勉手当の0.15月分引き上げ。 ②給料表水準の平均2%引き下げ。(平成27年4月から開始し、3年間の現給保障あり。)

○議案第80号 加西市認定こども園設置条例の制定について

平成27年4月から北条南保育所と北条東幼稚園を統合し、新たに幼保連携型認定こども園として「北条東こども園」を開園しようとするもの。

○議案第83号 加西市幼児園事業実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成27年4月から泉第一保育所と泉幼稚園を統合し、新たに泉幼児園を開園し、また、子ども・子育て支援新制度にあわせて幼児園短時間保育部で実施する緊急一時保育事業を一時預かり事業に改めるもの。

○議案第84号 加西市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について

保育所及び幼稚園の保育料を一本化し、国が定める基準額の7割程度に料金設定しようとするもの。

- ①4歳・5歳における保育所と幼稚園の保育料を等価とし、負担格差を解消。
- ②幼稚園保育料(公立・私立)、保育所保育料(公立・私立)をそれぞれに同額と定める。(※ただし、バス等の実費を除く。)

○議案第85号 加西市立幼稚園型一時預かり事業の実施に関する条例の制定について

幼稚園の預かり保育を一時預かり事業と位置付け、次のとおり改正するもの。

- ①費用負担の軽減を図るため、月額料金制から、利用実績に応じた日額料金制に改める。
- ②夏季以外の長期休業期間中においても利用できるように改める。

○議案第87号 播磨内陸医務事業組合理約の一部変更について

播磨看護専門学校の管理運営組合から、三木市・小野市が脱退することに伴い、組合議会の議員定数及び副管理者数を変更するもの。

(変更内容) 組合議会の議員定数 12人→8人、副管理者数 5人→3人

○議案第89号 財産の処分について

旧下里小学校跡地の宅地造成事業に伴う市有財産を処分し、「ベルデしもさと」を宅地分譲しようとするもの。

○議案第90号 平成26年度加西市一般会計補正予算(第5号)について

- ・一般管理費(姉妹都市ブルマン市への親善訪問団派遣、ふるさと納税特産品費等)
- ・企画費(県補助金を活用し、道路標識裏面等に観光案内看板を整備するもの等)
- ・賦課徴収費(軽自動車税に係る税制改正に対応するため、税務システムを改修するもの)
- ・社会福祉総務費(人件費及びシステム改修費に係る介護保険特別会計繰出金等)
- ・老人福祉費(県補助金を活用し、地域密着型複合型サービス事業所の整備に対して補助を行うもの等)
- ・母子福祉費(母子生活支援施設入所措置費の保護単価改正、入所世帯数増に対応するもの)
- ・学童保育費(小学6年生までの学童受け入れに対応するため、北条東学童保育専用棟の設計を行うもの)
- ・環境保全対策費(民間補助金を活用し、市役所駐車場に電気自動車用急速充電器を設置するもの)
- ・労働諸費(若者世帯持家推進補助金及び新婚世帯向け家賃補助金の申請増に対応するもの)
- ・農業振興費(シカ緊急捕獲拡大事業負担金、農地集積協力金、酒造好適米増産推進補助金等)
- ・農地費(2地域の環境保全隊の増加に伴う活動支援事業費負担金の増等)
- ・林業振興費(緊急防災林整備事業の実施面積の拡大に伴う補助金の増等)
- ・道路維持費(社会資本整備総合交付金事業〈道路ストック点検、市道都市計画2号線〉の増)
- ・道路新設改良費(市道笠原2号線の電柱移転を前倒しで行うもの)
- ・職員給与等(人事院勧告に準拠した給料及び勤勉手当等の改正に対応するもの等)

○議案第92号 平成26年度加西市水道事業会計補正予算(第2号)について

平成27年1月からの市川町との用水供給契約変更(1日当たりの責任水量:5,100トン→4,100トン、責任水量を超える1トン当たりの受水単価:100円→19円)の合意により、受水費が1年間で約16%軽減されるため、787万3,000円(1~3月末分)減額しようとするもの。

委員会審議

建設経済厚生委員会

○播磨内陸医務事業組合規約の一部変更(議案第87号)

(主な審議内容)

問 小野市と三木市の脱退による、運営面や看護学校入学者数への影響は。

答 負担金が増加となりますが、近隣の大学看護学科開設以降も受験者数に変動はなく、懸念する影響はありません。

問 脱退に関する確認事項のうち、債務の代位弁済についての協議経過。

答 市町長で構成される管理者会において、当初は財政調整基金と債権の返還の有無について折り合いがつかず、万が一のために代位弁済の条件付けを小野市が強く要望し、最終的に合意しました。

(市長)財産処分について訴訟もあり得ましたが、小野市長の条件をのむというぎりぎりの合意点で、加西市を含む各首長が判断したところです。

(議決結果)

全会一致で可決

○財産の処分について(議案第89号)

(主な審議内容)

問 「ベルデしもさと」は一つの自治会になるのか。また、宅地分譲後に建設されない事例が過去にあったが、今回は買い戻し特約により、迅速な建築が期待できるのか。

答 将来的に一つの自治会を構成できるようにと考えています。また、分譲ルールを守る誓約書の提出によって、申込者の意志確認を行います。そして、違反時には買い戻し等により、早期の建築を促します。

問 分譲条件の建築完了と入居は、なぜ2年ではなく3年以内なのか。

答 1年以内の建築とスムーズな入居が望ましい流れですが、土地購入に伴う多額の負担を考慮し、3年に設定しています。

(議決結果)

全会一致で可決

総務委員会

○特別職に属する常勤の職員及び一般職の職員の給与条例の一部改正(議案第77号)

(主な審議内容)

問 一般職の給与を増額する一方、給与表水準の引き下げを3年間現給保障するのは、どういうことか。

答 2本立てがワンセットの勧告です。まずは民間給与との格差約0.3%について、若年層を中心に給与水準を引き上げ、次に、総合的な給与水準見直し(引き下げ)を行います。結果として、全体的に給与は下がり、効果額は、平成27年度以降の昇給停止分を平均約34万円として、年間約1,800万円程度の減額を予測しています。

(議決結果)

全会一致で可決

○加西市認定こども園設置条例(議案第80号)

(主な審議内容)

問 認定こども園に対する国からの補助金は。

答 私立の認定こども園は、整備や運営への補助金があり、公立は補助金ではなく、園児数に応じた交付税措置になります。

問 以前から統合・民営化の方針があった中で、今回、認定こども園を公立で整備するということは、一定、加西市が公的に責任をもって、乳幼児の保育・教育に取り組む姿勢を明確にしたと考えてよいのか。

答 統合と民営化の基本方針を策定しており、将来的にはその方向ですが、数年前のように、同時に統合・民営化を進めることは、保護者・子供・行政にとって大きな混乱を招くことになるため、まずは統合をしっかり行い、望ましい園整備を行った上で、民営・公営を判断したいと考えています。

(議決結果)

全会一致で可決

○加西市幼稚園事業実施条例の一部改正(議案第83号)

(主な審議内容)

問 修繕するとはいえ、かなり老朽化した泉幼稚園舎の新築建てかえも、環境整備の一環として検討してほしい。また、災害警戒区域にある泉第三保育所の対応を早急に行うべきではないのか。

答 泉中学校区で開催した幼保・地域協議会を通して、地域の方は現状を十分認識されているものの、大きな話でもあり、第一段階である園の統合という妥協点にも到達しておらず、今後は、行政側からも統合後の具体案を示し、より理解していただけるよう継続審議していきます。

(議決結果)

全会一致で可決

○加西市子どものための教育・保育利用者負担額を定める条例(議案第84号)

(主な審議内容)

問 新しい保育料金の階層区分が、従来に比べて集約されている理由は。

答 国基準の8割から7割程度となるよう検討した結果、12段階に料金階層を定めたものです。

要望 多子世帯への保育料軽減についても、少子化対策として、継続し拡充に向けて取り組んでほしい。

(議決結果)

全会一致で可決

○加西市立幼稚園型一時預かり事業の実施条例

(議案第85号)

(主な審議内容)

問 急な一時預かりが必要となった場合の対応は。

答 あらかじめ利用回数を意向調査しておき、急なニーズ等、ある程度利用増を見通した態勢を整えます。

問 幼稚園と幼児園・認定こども園間で、長期休業期間に日額料金差が発生する理由は。

答 学校給食が利用できる幼稚園のみ200円安くなっています。

(議決結果)

全会一致で可決

○一般会計補正予算(議案第90号)

(主な審議内容)

問 姉妹都市訪問団派遣事業の内容は。

答 春休みに中学生によるプルマン市の訪問と、5月の播磨国風土記1300年祭にプルマン市長をお招きし、民間レベルの交流を図ります。

問 道路標識(裏面)等への観光案内看板の設置は、高さや安全性の面から難しいのでは。

答 観光地への案内標識ではなく、時間をかけずに認識できる加西市のアイコンを使用予定です。安全に配慮しながら、盤面のデザイン・設置箇所等について、警察等の関係機関と協議をしているところです。

(議決結果)

全会一致で可決



請願の審議結果

12月定例会では、請願2件が提出され、それぞれ所管の委員会に付託して審議、本会議最終日で採決を行い、以下のとおりの審議経過及び議決結果となりました。

■請願第2号 「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願書

【内 容】

手話が音声言語と対等な言語であると多くの国民に広め、聞こえない子供たちが手話を身につけ、手話で学び、いきいきと使うことができ、さらに、手話を言語として普及・研究できる環境の整備を目的とした「手話言語法」の制定を求める意見書を国に提出してほしい。

【付託委員会】

建設経済厚生委員会

【議決結果】

(委員会・本会議)全会一致で採択

【補 足】

請願の採択後に上程された意見書案第2号 「手話言語法」制定を求める意見書(案)についても、同じく全会一致で可決しています。



12月19日採決の様子

■請願第3号 加西市議会議場に国旗の掲揚を求める請願

【内 容】

国旗は自国を象徴するものであり、市の式典や大会で掲揚され、また、オリンピック・パラリンピックをはじめ、国際的なスポーツ大会の場では、国民は「日の丸」の旗を振り応援している。このように国旗は、日本人にとって自然かつ身近なものとして既に定着しており、自国の国旗に敬意と誇りを持つことは、極めて大切なことである。また、平成11年に「国旗及び国歌に関する法律」が制定され、国会や兵庫県議会でも国旗が掲揚されており、市民の代表が構成する加西市議会においても、議場に国旗を掲揚することは重要であり、早急な実施を求める。

【付託委員会】

総務委員会

【委員会・本会議における討論】

賛成

- 8月に実施された加西市議会による市民アンケートにおいても、掲揚を求める意見が多くあった。
- 以前同様の請願が議論されたときには、不快感を示す方がいるならば、まだその時期ではないと反対したが、その後、他自治体への視察を重ねた結果、国旗を掲揚しない議場はなく、既に普通のこととなっており、機が熟したと考える。
- 国を愛し、国旗を敬うのは当然のことであり賛成するが、40年間掲揚されてこなかったことへの理解はしておくべき。

反対

- 国を愛する形はさまざま。何よりも議場は記念式典や節目行事の場ではなく、少数意見も尊重しながら議論をしていく場である。市議会の議場は市民としっかりと結びつき、自由に議論ができる場にすることこそが望ましい。
- 集团的自衛権の行使や憲法9条の改正という大きな課題のある時期だからこそ、議場は権威的なものと無縁でありたい。たとえ政権がかわったとしても、議会制民主主義を標榜する限り、国旗を掲げるべきではない。

【議決結果】

(委員会)全会一致で採択

(本会議)賛成13、反対1で採択

討 論

討論とは、議員が表決の前に、議題となっている案件に対し賛成か反対かの自己の意見を表明することです。12月議会では、5名の議員が討論を行いました。

■議案第76号 特別職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の制定について

【賛成】

○事務処理のミスは、職員個人の責任を問題視するだけではなく、大幅に職員の数が減ったために、各部局の対応が非常に困難になっている点について、組織として、しっかり取り組んでいかなければならない。抜本的な手だてなくして、罰則の強化や有識者からの指摘だけでは、本当の意味での解決にならない。

現場の職員が問題点をしっかりと議論し、必要な人員の確保も視野に入れながら、解決を図っていただきたい。

【反対】

○過去に市長は、市政45周年記念案内状の誤送による給与の10%カット、また、源泉徴収漏れによる給与の10%カットを2回実施した。

いずれも1人で作業を行い、チェック体制がなかったことが原因とされているが、これはつまるところ、過去の教訓が市役所全体に生かされていないということである。あげくに、市長が減給処分した重みが職

員に伝わっていないと答弁する始末では、過去2回の決断では、何も解決せず、自己満足に終始したとも受け取れる。3度目となる同じ責任の取り方は、果たして職員や市民に届くのか疑問だ。

○リーダーの責任の取り方として、給与カットという選択が果たして正しいのか。マスコミ受け、あるいは市民向けに「自分は最終責任をとっている」と発信するための短絡的かつ軽率な対応である。

○市民は給与カットなど望んでいない。イベントや行事に人や予算を費やすよりも、地味であっても、最も市役所の基本的な業務である事務事業に、もっと注意を払うべきである。市長はさらに指導力を発揮し、職員のモチベーションを高めるよう努めていただきたい。

(議決結果) 賛成11、反対3で可決

■議案第77号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【賛成】

○加西市は現在も財政再建途上にある。一般職員の実質的な給与引き下げは、若年層への配慮(給与水準の引き上げ)し、その上で実施するには、やむを得ないと考える。

一方、特別職の期末手当引き上げについても、判断が難しいところではあるが、現在、三役の大幅な給与カットを行っているという背景を考慮すると、同じくやむを得ないと考える。

【反対】

○人事院の民間企業実態調査は、全国の従業員50人以上の民間事業所を対象とし、各層から無作為抽出したものである。

一方、加西市の全民間事業所2,062、全従業者数

21,145人(H24.2月現在)のうち、人事院の調査基準を満たす事業所は、市全体の3%、従業者数として全体の39%である。

一般職の給与の引き上げは、民間との格差を埋めるためとのことだが、このような数値を比較対象とするのは、市民の思いをまるで反映していない。

相次ぐ事務処理ミスが問題となっている時期に急いで実施するのではなく、ミス根絶対策本部による対策案を待ってから検討するべきではないのか。

○市長・副市長の給与を1カ月10%カット(議案第76号)することと、ボーナスを引き上げる(議案第77号)ことは矛盾している。

(議決結果) 賛成13、反対1で可決

第255回 加西市定例会議決結果一覧 平成26年11月28日(金)～12月19日(金)

■全会一致で承認、同意、可決、採択した議案・請願・意見書案

委員会提出議案第1号	加西市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について
報告第4号	専決処分したものに付き承認を求めることについて(平成26年度加西市一般会計補正予算(第4号))
議案第75号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
議案第78号	加西市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
議案第79号	加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第80号	加西市認定こども園設置条例の制定について
議案第81号	加西市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第82号	加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第83号	加西市幼児園事業実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第84号	加西市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について
議案第85号	加西市立幼稚園型一時預かり事業の実施に関する条例の制定について
議案第86号	社会福祉法人に関する事務の委託の廃止について
議案第87号	播磨内陸医務事業組合規約の一部変更について
議案第88号	市道路線の認定について
議案第89号	財産の処分について
議案第92号	平成26年度加西市水道事業会計補正予算(第2号)について
請願第2号	「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願書
意見書案第2号	「手話言語法」制定を求める意見書(案)

■全会一致で不採択とした陳情

陳情第3号	市職員の農会長就任を禁じることについて
陳情第4号	卒業式等に議員が来賓として出席することについて
陳情第5号	議員報酬の改正について

■賛否の分かれた議案・請願・陳情(採決の行われた順に掲載)

○…賛成 ×…反対

議 案	松尾幸宏	植田通孝	深田真史	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	高橋佐代子	別府直	黒田秀一	井上芳弘	森元清蔵	三宅利弘	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
議員提出議案第1号(※) 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	議長	×	×	×	×	原案否決 (賛2、反12)
議員提出議案第2号(※) 加西市議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議員提出議案第3号(※) 加西市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×	議長	×	×	×	×	原案否決 (賛4、反10)
議案第76号 特別職に属する常勤の職員の給与の特例に関する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛11、反3)
議案第77号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例及び一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第90号 平成26年度加西市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第91号 平成26年度加西市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
請願第3号 加西市議会議場に国旗の掲揚を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長	○	○	○	○	原案採択 (賛13、反1)
陳情第1号 日本国旗を加西市議会に掲揚することについて	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	議長	×	×	×	×	原案不採択 (賛4、反10)
陳情第2号 加西市立小中学校、幼稚園、保育所等の給食について	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	議長	×	×	×	○	原案不採択 (賛6、反8)

(※)議員提出議案第1号から第3号の詳細については、15ページに掲載しています。

議会基本条例の検証結果について

1. 経 緯

加西市議会では、平成22年6月に議会基本条例を制定し、市民の信託に応えるために議会の情報公開、住民参加、議会運営の効率化や議会活動の活性化を目的として、インターネットによる中継、陳情者等への発言機会の付与、一問一答方式の導入、議会報告会の開催などを実施して議会改革に取り組んできました。その結果、議会改革度ランキングでは上位にランクされるなど一定の評価を得てきました。こうした中、条例の制定から4年が経過したことから、条例の達成状況について、議会基本条例第22条に基づき、昨年6月から議会運営委員会を中心に条例の検証及び見直しを行うこととしました。

2. 検証経過

議会運営委員会において、市民アンケートの実施、先進市議会への視察を行うとともに、委員会を7回開催し、条文ごとに実施実績やその達成度、検討事項を確認する検証シートを作成して改善すべき項目を抽出し、その対応策について協議を重ねました。

3. 検証結果

改善等の見直しが必要となった条項と内容は下記のとおりです。なお、◎印の条文については、昨年12月定例会初日に条例改正案を提出し、全会一致で可決しました。改正の内容については、議会ホームページの「議会基本条例」の新旧対照表をご覧ください。また、※印の条文については、条例改正は行いませんでしたが、運用を改善していくこととしました。

条 項	見出し	見直しの内容
◎第2条 第2項	議会運営における最高 規範性	基本条例の研修について、任期開始直後の1回きりであったものを、任期の中間にあたる任期2年経過後にも行うこととしました。
◎第6条 第3項	市民参加及び情報公開	本会議等での公聴会制度等の活用について、原則的に制度を活用するということではなく、状況により制度を活用していくことを分かりやすくするために、「必要に応じて」という文言を付け加えました。
◎第8条	議会報告会	議会報告会について、イメージを一新するために「議会報告会」という名称を変更し、市民との意見交換を主目的とし、あわせて重要な議会審議の報告を行う場にしていくこととしました。
※第9条 第3項	市長等と議会及び議員 の関係	市長等の反問権について、議長や委員長がきっちりと運用しながら取り組んでいくこととしました。
◎第11条	議決事項の追加	計画が更新されない「次世代育成支援行動計画」を削除し、子ども・子育て支援法により事業計画の策定が義務付けられた「子ども・子育て支援事業計画」を追加しました。
※第12条	討議による議会の合意 形成	議員間討議について、議長や委員長が討議を促すとともに、全議員がしっかりと意識を持って取り組んでいくこととしました。
※第13条	政策検討会	政策検討会の実施について、議長ほか全議員がしっかりと意識を持って取り組んでいくこととしました。
◎第19条 第1項	議員定数	参考人制度と公聴会制度の活用について、市民の意見を聴くための唯一の方法ではなく、多様な方法の一つとして必要があればこれらの制度も活用することとし、「参考人制度、公聴会制度等を活用」から「多様な方法により」という言葉に変更しました。
◎第20条 第1項	議員報酬	
◎第22条 第1項	見直し手続き	検証の時期について、「必要に応じて」実施するとしていたものを、定期的に実施することとし、任期の最終年である4年目に検証を行うこととしました。

12月定例会

ここが聞きたい
市政をたずす

質疑・一般質問

12月9日、10日の本会議では、質疑3名、一般質問11名の議員が発言し、議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。(発言順に掲載)

その他の質問については、議会中継や会議録検索システム(3月中旬に掲載予定)でご覧いただけます。

- 質疑…市長から提案された議案等の議題となっている案件に対し、不明確な点を問い、案件の提出者等に説明や意見を求めること。(1人当たりの制限時間は40分)
- 一般質問…市長を初めとする執行機関に対し、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて問うこと。(1人当たりの制限時間は60分)

議案第80号及び議案第84号について

質 疑



三宅 利弘 議員
(21政会)

H27年4月1日から子ども子育て支援法が施行することに伴い、加西市においても所要の改正が行われようとしております。

①議案第80号 加西市認定こども園設置条例の制定について

問 認定こども園の国における設置基準について。

答 国の基準は、保育室や遊戯室、運動場の広さ、給食方法、また、保育士、教員の人数等、幼保両方の基準が適用されます。また、認定こども園だけに適用される基準もあります。

問 加西市としての進め方は。

答 これからの認定こども園化につきましては、保育室の改修が必要となるため、九会幼児園と別府幼児園の統合とあわせて、新園舎の建てかえや、保育士の計画的な配置によって順次認定こども園化を進めてまいります。

問 3歳からの幼児教育(保育内容)について。

答 4歳・5歳児のカリキュラムはすでに作成しています。3歳児については、昨年兵庫教育大学の先生に指導をいただき作成を完了。本年度4月より各園の幼児教育プログラムに加え、保育の取り組みを行っています。

②議案第84号 加西市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について

問 国の改正点について。

答 国からの給付額の総額も増額

されており、また、保育料も従来の所得税から市民税による算定方式となり、利用者の負担が軽減されています。

問 加西市での改正案の検討内容について。

答 昨年改正をした幼稚園の保育料は、そのまま据え置きとし、保育所保育料について減額し、国基準の7割程度としています。また、4歳・5歳の保育料は、上限を設定し負担額の均衡を図りました。

問 今回の減額幅は。

答 今回の値下げ幅を平均の月額保育料で計算いたしますと、現行では2万1,592円が、1万6,355円となり、単純比較で一人当たり5,000円程度の減額となっています。

■その他の質問項目

・議案第89号及び議案第90号

学校給食費の軽減について

一般質問



織部 徹 議員
(21政会)

給食費の軽減を進めます。

問 給食費を下げるためにメニューが悪くなるようでは困る。そこで、現在、市が負担している光熱費(電気水道代)に、ガス代までを含めることで、保護者負担分を軽減するというのはどうか。

答 ガス料金を市が負担するかについては、市の方針並びに財政計画との関連もあり、今後の検討課題であると考えています。

問 給食費は保護者の月々の支払いに本当に重くのしかかってくる。とりわけ3人程度の子供がいる世帯では負担が大きく、できるだけ安くなるよう考えていただきたい。また、相生市では給食が無料化され、他市への人口流出が止まり、住みやすい市として人が入ってきているという話も聞いている。市として、無料化に向けてどのように考えているか。

問 本年度から中学校でも給食が実施されたが、現在ひと月の給食費は、北播他市町より高く、小学校4,100円、中学校4,400円となっている。そのため、加西市は給食代が高いというイメージである。

子育て支援の観点から、他市町よりぐっと安くすることはできないか。

答 他市町と比較して、加西市の給食費が少し高めとなっているのは、メニューが一品多いためです。給食費には食材費・調味料・ガス料金が含まれ、それ以外の人件費・管理費用・上下水道料金・電気料金は市が負担しています。今後、ガス料金の交渉や、食材の入札による一括購入など、

答 相生市では給食費無料化事業をはじめ、さまざまな子育て応援施策が実施されており、その効果等を総合的に検証していきたいと考えています。また、保護者の負担軽減を図る子育て応援施策として、一歩進んだ無料化は今後の検討課題の一つです。

ただ、学校給食については、平成26年1月から全ての小・中・特別支援学校において完全実施を実現したところでもあり、開始から間もない現時点で性急に検討するのではなく、まず子供たちや保護者の方に評価していただける学校給食を目指した上で、総合的な観点から検討を進めてまいりたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・教育施設の整備について
- ・小中学校の介助員の配置について
- ・歩道等の整備について

播磨国風土記1300年祭について

一般質問



中右 憲利 議員
(21政会)

問 5月4日の上演は全て無料で見られるのか。

答 雨天の場合は市民会館での上演となりますので、1,000席程度の座席については有料とし、チケット販売を行う予定です。価格は地域づくりということに配慮していただいて、低価格に設定する予定です。また、無料観覧スペースの設置等についても検討を行っているところです。

問 風土記サミットを加西市で行うという計画があったと思うがどうなったのか。

答 平成27年度には兵庫県において、島根県の出雲国風土記、茨城県常陸国風土記等現存する風土記5カ国サミットの開催が検討されていますので、加西市での開催を県に働きかけているところです。

問 本番のイベントはどのようなになるのか。

答 5月4日は哲学者梅原猛氏書き下ろしの播磨国風土記を題材とした創作能の上演及び野村萬斎氏監修による狂言根日女を、萬斎氏自身と「こども狂言塾」の塾生との共演で上演する予定です。

5月5日はこどもの日ということで、子供から大人まで幅広い世代に播磨国風土記の記念イヤーを肌で感じてもらい、また、播磨地域全体の交流促進が図られるような多彩な事業を企画していきたいと思っています。

問 この1300年祭で創ってきた文化、人とのご縁を今後どう生かしていくのか。

答 「こども狂言塾」は来年度も継続実施し、狂言を加西の新たな伝統文化として郷土に根づかせ、次世代に継承していきたいと考えています。また、狂言師の野村萬斎さん、笛方の藤田六郎兵衛さん、イラストレーターの永田萌さん、漫画家のななじ眺さん等との貴重なつながりを生かし、引き続き事業等を通じて関係を継続していきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・市内基幹道路の整備及び水害対策について
- ・人口増政策について
- ・ふるさと創造会議について

地域ブランド協議会について

一般質問



松尾 幸宏 議員

(自民の風・誠真会)

問 地域の活性化、また、地産地消につながる地域ブランド化への取り組みに関しては、各自治体が積極的に取り組んでいる。加西市においても平成15年に特許庁が地域ブランド商品であることを認定する地域団体商標に登録されたゴールデンベリーAが全国的に有名であるが、加西ブランド協議会の設立経緯、活動状況等をお聞きしたい。

答 加西のブランド協議会は、地域産業の開発研究、生産、宣伝、販路拡大を促進し、地域産業及び農業の振興を図り、あわせて市の活性化に寄与することを目指して、平成19年に加西市と加西商

工会議所、兵庫みらい農業協同組合の三者が協定を締結して設立されたものです。

特産品としてPRしてきた代表的なものは加西ゴールデンベリーAで毎年イベント出展しております。また、産地の歴史をまとめた冊子、加西ブランド誕生ストーリーを発行しており、市内小学生の学校教材としても提供して、地域産業の教育と食育の推進に活用しております。

ハリマ王ニンニクについては、平成20年度以降、地道な取り組みでテレビ番組にもしばしば取り上げられることもふえてきました。新しい商品開発ということでは、ダークホース(カボチャ)、茶っころ姫(枝豆)の生産拡大、販路拡大等について協議を進めてまいっております。また、加西ゴールデンベリーAを主材料にしてつくっておりますRAKANは、あっさりした甘みとフルーティーさで加西市をPRするツールとしても評価をいただいていると認識しております。

今年は、新商品開発をということで、加西産のジャガイモ、トマトピューレ、ハリマ王ニンニク、加西のお酒大吟醸、そして、市内の畜産農家で育てられた黒毛和牛の神戸ビーフ、または但馬牛の肉等、加西の農産物をふんだんに使った高級なカレーを目指して開発中です。このカレーを食していただくことにより加西の食材のすばらしさをPRしていきたいと考えております。

要望 ・RAKANをスパークリングワインにしたら、甘み、フルーティーさが生かせるのでは。
・ゴールデンベリーA等で、干しブドウをつくったらどうでしょうか。
・RAKANの搾りかすを飼料に配合し、加西産のブランド牛(根日姫ビーフ)として登録してはどうでしょうか。根日姫ビーフ入り的高级カレーを期待しています。

■その他の質問項目

・古法華自然公園キャンプ場について

加西市の介護保険サービスの受け方について

一般質問



長田 謙一 議員

(21政会)

問 加西市において地域包括ケアを充実させる取り組みは。

答 重要な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療・介護予防、住まい、生活支援のサービスを一体的に提供する仕組みであり、団塊の世代の方々が75歳以上になる2025年をめどに、保険者である市町村が地域の特性に応じてつくり上げていくことが必要である。地域包括システム実現に向け、地域支援事業の充実、多様化により、

介護予防サービス及び生活支援サービスを強化することや、医療・介護連携を進めるための制度改正が行われており、行政として地域の実情を勘案しながら取り組み、特に地域支援事業のうち新しい介護予防、日常生活支援総合事業については、いきいき委員会など地域福祉活動や組織率の高い老人会の強みを生かした市独自の取り組みができないか検討し、生活支援コーディネーター及び地域ごとの協議体の設置や認知症対策の強化など、取り組むべき内容もあり、先進自治体の事例を研究して医療機関とも連携を進め、目標年度には地域包括システムの確立に努めたい。

問 介護保険制度の課題及び対策、また、解決策は。

答 超高齢化社会における高齢者数の増加と生産年齢人口

の減少により、介護保険給付の増加に社会保障費の増大、被保険者の介護保険料の負担の増大に加え、現状でも充足していない。介護職員の確保など、簡単には解決できない課題があり、地域包括ケアシステムを進めることで、介護予防の部分に重点を置き、健康寿命を延伸させることや、元気な高齢者もサービスの担い手になっていただき、社会参加とみずからの介護予防に寄与していただき、介護給付費の増大を防ぐのも重要である。介護職員の確保については、処遇改善などの対策を講じているが、十分な効果が出ていないので何らかの対策を講じたい。

■その他の質問項目

・統一地方選挙に向けて
・第4期加西市障害福祉計画について

地方議会の新モデル創生について

一般質問



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 私は、地方の小都市「加西市」から全国に発信できる新しい地方議会のモデルが構築できないかと考えてきました。それは、各世代(20代、30代、40代、50代、60代、70代)の意見を代弁する代表者を議場に送り、議論を闘わせる構図を構築することです。そうすることにより、将来展望に立って何事にもチャレンジする生き生きとした若い人たちの意見や社会参加を願う女性ならではの意見、また、働き盛りの立場に立った厳しい意見や年金世代の成熟度の高いご意見

を聞くことができ、議会に新鮮さと成熟さと活力がみなぎってくると思っています。若い人たちや女性の方々、稼働年齢層の方々、年金世代の方々の市政参画が大いに図られることになると思います。

そして、議員数をふやすことにより民意吸収機能も高まり、議員間討議も活発化し、議会の本来的な機能が活性化するものと考えます。また、議員報酬は日当制として、今の全議員の報酬総額から2割程削減して、若い人たちや女性の方々や仕事をされている方々が出馬しやすい土壌をつくる必要があると思います。

そこで、多様な市民の代弁者としての市議会議員を選ぶのに、20代～70代の各世代ごとに男女2名ずつの男性12名、女性12名で総定数24名といった規定を設けて選挙を行うことは、公職選挙法に

抵触するのをお尋ねします。

答 公職選挙法第10条で、被選挙権について規定しておりますが、世代別、男女別選挙は世代ごと男女ごとに被選挙権に制約を加えることにもつながりかねず、公選法の想定を超えるものと考えられますので、抵触とはなりません。公選法に明文規定がない限り条例制定もできないものと思います。

■その他の質問項目

- ・加西市歩こう条例の条例化について
- ・各校区創造会議の中間報告について
- ・各種団体補助金の補助額の復活について

太陽光発電について

一般質問



別府 直 議員
(自民の風・誠真会)

問 市内における太陽光発電施設の設置状況は。

答 ミドルソーラーは、資源エネルギー庁の資料によると、8月末時点で233カ所、12メガの発電量となっています。しかしながら、ミドルソーラーは設置件数が多いことに加えて、設置場所等の情報が関西電力に帰属して非公開であるため、加西市による詳細な把握は難しくなっています。

一方、メガソーラーは現在稼働中が7ヶ所、今後の設置予定が5ヶ所の合計12カ所、総発電量23メガとなっています。

今後の予定では、メガソーラー11カ所、ミドルソーラー483カ所、合計約500カ所、発電量にして45メガが設置

される見込みです。(10月末時点)

問 以前から、ため池を活用した太陽光発電施設の誘致を要望していたところである。最近ていの村前の逆池周辺で工事が始まったようだが、その詳細について。

答 京セラ株式会社による事業で、大規模な水上太陽光発電施設としては、全国で加西市が6例目となります。規模2メガ、平成27年6月22日の完成を予定しており、一つのため池における施設としては国内で最大となります。

問 その他の地域における、水面を利用した太陽光発電施設の進捗はどうか。

答 ため池(21カ所)を管理する自治会へのアンケート結果では、事業が実施された池が1カ所、また、地元としては前向きだが関西電力との系統連係が問題だという所が7カ所、そして事業実施の見込みがない池が、

それ以外の13カ所となっています。

問 太陽光発電設備は、償却資産として固定資産税の課税対象となるが、課税額や対象漏れをなくす体制について。

答 まず課税額について、平成26年度は固定資産税の再生可能エネルギー発電設備に係る課税標準の特例(時限的な軽減)があり、これを適用している設備が現在33件、課税額として約2,800万円となっています。また、このほかにも、特例を受けずに課税している設備が相当数あると思われます。

課税対象の確認は、航空写真だけではなく、市内巡回、現地調査等を実施し、加えて関係機関からも情報収集しながら課税漏れがないよう努めていきたいと考えています。

■その他の質問項目

- ・市道の整備・管理について

北条高校の活性化について

一般質問



深田 真史 議員
(加西の新しい未来を創る政策研究会)

問 12月初め、北条高校の活性化策として打ち出された「北条高校アフタースクールゼミ事業」は、事業総額が年間1,000万円程度になることが明らかになった。しかし、北条高校へのアンケート結果からはゼミを受講しないと答えた北条高校の1・2年生は45%いる。また、北条高校1・2年生で既に塾に通っている生徒は100名程度いることがわかっている。そんな中、北条高校に限定した形で希望者のみに1,000万円ものお金、3年間で計3,000万円を投じることは疑問である。さらに、北条高校に進学した高校生以外約7割の加西市の高校生を別にして、加西市のお金を北条高校

だけに投じることが公平と言えるか。一方、北条高校に対しても疑問がある。このゼミを実施するということは、平成27年4月からの高校の学区統合を目前に、北条高校の先生方はあきらめてしまったという印象を与えてしまいかねない。

答 北条高校は市内唯一の普通科高校であり、多くの市民にとって心のよりどころとなる地域の大切な資源だと思います。来年度、県立高校の学区再編が実施されることで、生徒の高校への志望動向が変化しており、将来安定的に北条高校への志願者を確保するため、加西市民から求められているのが北条高校への支援ではないかと考えています。

北条高校では、生徒の基礎学力と人間力を養い育てる充実した教育を実施しています。アンケート結果で高校に最も求められるものが、「大学などに進学できる学力の習得」であったように、大学合格実績に結び

つく受験対策を北条高校で講ずる必要があると考えています。従来通り、高校教育は北条高校が実施し、大学受験対策をゼミが補完する計画です。

意見 このゼミは一部の生徒しか受けられず、そこに市のお金を使うことは公平性に欠ける。学力向上・受験対策はまず北条高校の先生が行うことであり、この事業は見直すべきだ。それだけのお金を北条高校に投じる余裕があるなら、中学校教育に投じ、市内中学生の学力の底上げをすべき。これこそ「全国に誇れる教育都市」を目指す加西市の取り組みではないか。中学校なら市内の全中学生にお金を投じることにになる。

■その他の質問項目

- ・学童保育について
- ・病院再編と加西病院について
- ・障害者福祉と就労支援について

旧北条市街地住環境整備について

一般質問



黒田 秀一 議員
(自民の風・誠真会)

問 住環境整備事業の目的について。

答 北条市街地は道路幅員が4メートルに満たない狭隘道路が多く、通行や環境衛生の問題だけでなく、地震や火災等の災害時における消防や救急活動に支障を来すことが予想されます。また、倒壊の恐れがある危険空き家や空き地も多数存在しています。

行政と地域住民が協力して住環境整備を行うことで、災害に強い持続性のある市街地の発展を目指していきたいと考えています。

問 北条地区まちづくり勉強会に

ついて。

答 9月、10月、11月の3回、まちづくりアドバイザーによる、まちづくり勉強会をアスティアかさいで開催しました。勉強会では、住環境整備について、住民の方への協力をお願いするとともに、行政側からの支援施策についてご説明し、広く周知するべく、質問への回答を含めた資料を隣保回覧及びホームページへ掲載しています。また、参加者の方からいただいた意見、要望を参考にしながら、制度の策定を現在進めているところです。

問 老朽住宅の取り壊しや後退道路用地部分の無償提供といった、住民の方からの協力に対しての、行政側からの協力支援施策の詳細はどのように考えているか。

答 住民の方のご協力に応じた助成制度を提案しています。①空

き家の除却がスムーズに行えるように費用の一部を助成する制度②道路用地後退部分や、隅切り部分の土地を市に無償提供していただいた場合に、面積に応じた奨励金を支払う制度の創設です。詳しい内容や助成金額については、現在予算措置を含め調整中です。

問 北条市街地の将来像について。

答 北条市街地は公共交通機関に近く、徒歩圏内に大型商業施設が立地している大変便利な地域です。買い物だけではなく、医療、福祉、教育、文化等のサービスが身近に利用できるコンパクトな町であり、この地域の問題を解決することは、人口の定住による市街地の活性化につながると考えています。

■その他の質問項目

- ・防災リーダー災害対応研修について

5万人都市再生について

一般質問



高橋佐代子 議員

(自民の風・誠真会)

問 市長は、就任以来「5万人都市再生はスローガンではない。達成すべき明快な目標。結果にこだわって邁進する」と言われてきたが、最近はトーンダウンし、播磨国風土記1300年祭事業が加西市の起爆剤になればとPRされている。

常に結果にこだわり市政を運営されてきたが、今は4万5,000人台となった。「5万人都市再生」の実現性をどのように考えられているのか。

答 依然として人口減少に歯止めがかかっていないことは十分認識しているが、「5万人都市

再生」は全くあきらめていない。高い目標であり、至難の業であることも認識しているが、もっと人口を受け入れることができる可能性が十分あると思っている。

加西市民の加西市に対するイメージは確実に変わってきている。全市民が一丸となって邁進すれば、地域の絆を取り戻し、住みたいと思えるまちになる。実現可能な目標と考えている。

問 「5万人都市再生」に向けての西村市長自身が考えられている、今後の具体的なストーリー、道筋とはどのようなものなのかお聞きしたい。

答 結婚して近隣市に転出するような有意な転出超過を、この期のうちに止めたい。

大変困難な課題ではあるが、旧市街地の整備は、爆発的な人口増

の可能性を秘めていると考えている。西高室の区画整理では、28年4月、保留床を売る状況になり、相乗効果が発揮することが期待される。

ベルデしもさとを1年以内に子育て世代の住むまちにし、その成功をばねに残りの小学校区でも、小学校のそばに子育て世代が住めるニュータウンをつくりたい。

「5万人都市再生」は、一朝一夕には達成できる目標ではないと十分意識しているが、地道な取り組みを重ねることによって達成できる目標であり、努力する。

■その他の質問項目

- ・市職員のミス根絶に向けた対策について
- ・市税等や公共料金の滞納額と徴収体制について
- ・(仮) 泉幼稚園の整備について

財政の状況について

一般質問



井上 芳弘 議員

(日本共産党)

問 加古川西部の靴屋ダム関係の農家負担軽減として、加西市が持ってきた負担が、平成27年度で終結します。

平成2年から、総額で81億5,000万円、市の丸々一般財源ですから、近隣の自治体にはない特殊な重い負担から抜け出たなという気がいたします。

そういった中で、改めて財源指標・基金の状況・公債費の状況等を確認したい。

答 25年度決算時点における財政健全化法に基づく指標について、前年度から実質公債

費比率は1.6ポイント、将来負担比率については3.9ポイント改善しています。

市全体の基金(預金)の現残高は、35億2千万円で、そのうち財政調整基金については22億4千万円ですが、県下の最低水準です。

市債(借金)は、市全体で約438億円、前年度から約17億円、一般会計については約31億円増加しています。要因は、土地開発公社の解散に伴う第三セクター等改革推進債、学校施設の耐震化・改築・環境整備等の教育債、臨時財政対策債の増加によるものです。

問 行財政改革プランの最初の目標値では、25年度末で財政調整基金と減債基金合わせて11億円、起債の残額については、(全体で)439億円ということでしたから、目標を達成してきた経緯があります。

考えようによっては、基金を次年度の予算編成のためにも保有しておかなければならないため、起債をできるだけ活用したということはないのか確認したい。

答 一定程度の基金の保有は必要ですが、そのために起債を活用するという対応をしているわけではありません。

起債の新規発行につきましては、基本的に必要最低限で行っており、この間の事業では、緊急防災減災対策事業債、景気対策としての補正予算債など、一般財源より有利な起債を充てるという方針で行ってまいりました。

■その他の質問項目

- ・行政事務委託費について
- ・農業問題について
- ・幼児保育・教育について

西村市政について

一般質問



衣笠 利則 議員
(21政会)

問 西村市政の3年6ヵ月を振り返って、行政の全般的な質問をしました。その中で主なものについて、5万人都市再生についての住環境整備では住宅、道路、北条市街地の整備、近い将来のためにも子育て支援について、生活をしていく上で最も大切な水道料金、公共交通のあり方等について取り組まれた実績について質問をしました。

答 ①加西市の再生について
5万人都市再生については、福祉・医療・教育の充実という言葉に置き換えたときに、それらの内容

をしっかりと検証し、目標に向かって取り組んでいます。施策について81項目を揚げ、そのうち50項目については、達成までこぎつけております。31項目については、現在着手し完成に向けて努力しております。

②住環境整備について(住宅地、道路、北条市街地区整備)

住宅地の確保について、旧下里小学校跡地に県下でも初めての取り組みである、目的型特別指定区域の区域指定を受け「ベルデしもさと」として4月から分譲できるようになりました。道路整備についても積極的に取り組んでおり、北条・長線の開通も市民の安全安心のまちづくりに大いに役立てるものと理解しております。

③子育て事業について(医療費、保育料、小中学校の耐震化、給食)
保育料につきましては、全体的な

引き下げを提案しており、軽減策をさらに進めていきたいと思っております。給食費についても、しっかりと検討課題にしたいと思っております。

④ライフラインについて(水道料金、ごみ、公共交通)

水道料金については、約束どおり20%カットできました。また、ごみ袋の値下げについても、小野・加東と共同で運用することで、コスト削減ができ値下げに踏み切ることができました。

⑤今後の課題について(播磨国風土記1300年祭後の考え方について)

この風土記1300年祭は市民にとって大きく花を開かせる事業であり、加西といえば風土記、こども狂言というふうに言っていたら、一過性のもではなく、加西市の人口増につなげていきたいと考えております。

議員提出議案

12月定例会では、議員提出議案3件が提出され、以下のとおりの審議経過及び議決結果となりました。

■議員提出議案第1号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【内 容】

市財政の健全化に供するため、加西市議会議員の月額報酬を10%削減しようとするもの。

【議決結果】

賛成2、反対12で否決

■議員提出議案第2号 加西市議会議員の期末手当の特例に関する条例の制定について

【内 容】

市財政の健全化に供するため、加西市議会議員の期末手当を0.45ヵ月カット(年間3.5ヵ月支給)し、期限を平成27年6月30日と定め、現議員が任期満了(5月21日)後、6月に80%以上が支給される期末手当をあわせて削減しようとするもの。

【議決結果】

賛成13、反対1で可決

■議員提出議案第3号 加西市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

【内 容】

加西市議会の議員定数を、現15名から14名に変更しようとするもの。

【議決結果】

賛成4、反対10で否決

市議会トピックス

■ 市民との意見交換会を開催します

- (内 容) 1部 12月議会の報告 2部 意見交換「人口増施策について」
- 2月16日(月) 19:00～20:30 南部公民館(加西中学校区)
 - 2月17日(火) 19:00～20:30 北部公民館(泉中学校区)
 - 2月18日(水) 19:00～20:30 健康福祉会館(北条中学校区)
 - 2月19日(木) 19:00～20:30 善防公民館(善防中学校区)

※多くの方ご参加をお待ちしています。

■ 本会議の手話通訳について

本会議を傍聴する際に、手話通訳を依頼できるようになりました。手話通訳を希望する日の一週間前までに「手話通訳者配置申請書」を議会事務局に提出してください。(※申請書はホームページからダウンロードできます。)

■ 閉会中の委員会の開催日程

総務委員会を2月16日(月)に午前10時より開催します。ぜひ、傍聴やインターネット中継で審議の様子をご覧ください。

■ 平成27年(3月)加西市議会定例会の日程

月 日	時 間	会 議
2月27日(金)	9:00	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
3月3日(火)	15:00	発言通告期限(一般質問)
3月4日(水)	15:00	発言通告期限(質疑)
3月9日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月10日(火)	13:00	議会運営委員会
	13:15	議員協議会
	13:30	本会議(質疑・一般質問)
3月11日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
3月12日(木)	9:00	総務委員会(議案審査、予算審査)
3月13日(金)	13:30	総務委員会(予備日)
3月18日(水)	9:00	建設経済厚生委員会(議案審査、予算審査)
3月19日(木)	9:00	建設経済厚生委員会(予算審査)
3月25日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(最終日、委員長報告・採決)

ようこそ
市議会のホームページへ

加西市議会

検索

本会議・委員会の日程をはじめ、一般質問の通告内容や発言順も掲載しています。

また、インターネットによる議会中継(生中継・録画中継)もご覧いただけます。

ぜひ一度ホームページをご覧になって関心のある本会議や委員会を傍聴してみてください。

※日程は変更になる場合があります。傍聴を希望される場合は、議会事務局(Tel42-8790)でご確認ください。本会議の傍聴は市役所議会棟4階でできます。

※質疑・一般質問の内容や発言順序は、3月4日(水)に加西市議会のHPに掲載予定です。

議会だよりNo.141(2014年11月号)において、下記のとおり誤りがありましたので、訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。今後は細心の注意をもって編集を行ってまいります。

○5ページの右側上段 (正)都市整備部/(誤)都市計画部

発行/加西市議会
編集/議会だより編集委員会
〒675-2395 加西市北条町横尾1000
TEL/0790-42-8790 FAX/0790-43-1810
email/gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会
委員長 長田 謙一 副委員長 深田 真史
委員 井上 芳弘 委員 織部 徹
委員 高橋佐代子 委員 別府 直